

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 双葉電子工業株式会社

コード番号 6986 URL <http://www.futaba.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 有馬 資明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務管理本部長 (氏名) 中村 正行 TEL 0475-24-1111

四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	14,993	△7.7	△572	—	△640	—	△761	—
2019年3月期第1四半期	16,236	△3.9	△267	—	375	—	142	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △3,182百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 △363百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△17.96	—
2019年3月期第1四半期	3.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	113,901	99,367	78.6
2019年3月期	119,851	106,089	79.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 89,524百万円 2019年3月期 95,778百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	14.00	—	74.00	88.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	14.00	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2020年3月期の期末配当は未定です。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,500	△3.9	300	△7.3	800	△45.2	△1,500	—	△35.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	42,426,739株	2019年3月期	43,886,739株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	8,027株	2019年3月期	1,467,996株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	42,386,655株	2019年3月期1Q	42,419,565株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率 (%)
売上高	16,236	14,993	△7.7
営業損失(△)	△267	△572	－
経常利益(△損失)	375	△640	－
親会社株主に帰属する 四半期純利益(△損失)	142	△761	－
米ドル平均レート	109円/\$	110円/\$	+1円

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、雇用・所得環境は良好な状況が続いていますが、輸出の下振れに起因した製造業の弱さを背景に、停滞感が強い景況にあります。

世界経済は、米国では個人消費や設備投資の増加に支えられた景気回復が継続していますが、一方で、中国においては米中貿易摩擦の影響による景気の減速感が強まり、全体としては不透明な状況が続いています。

このような状況のなか、当社グループは、有機ELディスプレイの原価低減促進と差別化製品の拡販、IoT分野での融合商品の市場展開、プレート製品の設備・装置業界への拡販等により収益改善に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は149億9千3百万円(前年同期比7.7%減)となりました。このうち海外売上高は90億2千4百万円(前年同期比11.0%減)となり、国内売上高は59億6千8百万円(前年同期比2.1%減)となりました。

収益面では、営業損失は5億7千2百万円(前年同期は営業損失2億6千7百万円)、経常損失は6億4千万円(前年同期は経常利益3億7千5百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は、7億6千1百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億4千2百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

(単位：百万円)

セグメント名称	前第1四半期連結累計期間 外部顧客への売上高	当第1四半期連結累計期間 外部顧客への売上高	増減率 (%)
電子デバイス関連	7,759	7,181	△7.4
生産器材	8,477	7,811	△7.9
合計	16,236	14,993	△7.7

① 電子デバイス関連

(主な製品：蛍光表示管、有機ELディスプレイ、タッチセンサー、複合モジュール、産業用ラジコン機器、ホビー用ラジコン機器等)

< 蛍光表示管の売上高の状況 >

家電用途は伸びましたが、車載、音響用途ともに需要が減少したことにより、売上は前年同期を下回りました。

<有機ELディスプレイの売上高の状況>

映像用途は伸びましたが、海外の車載、通信機用途ともに減少したことから、売上げは前年同期並みとなりました。

<タッチセンサーの売上高の状況>

国内の車載用途は伸びましたが、海外の車載用途が減少したことから、売上げは前年同期を下回りました。

<複合モジュールの売上高の状況>

主力のPOS用途が海外において減少したことから、売上げは前年同期を下回りました。

<産業用ラジコン機器の売上高の状況>

F A向けや農業関連向けが伸長し、北米市場も伸びたことから、売上げは前年同期を上回りました。

<ホビー用ラジコン機器の売上高の状況>

国内の大手パートワーク（分冊百科）販売会社向けコマンド方式サーボの需要が減少し、欧米の需要も減少したことから、売上げは前年同期を下回りました。

② 生産器材

（主な製品：プレート製品、金型用器材、成形合理化機器）

<国内売上高の状況>

国内市場は、モールドおよびプレス金型用器材の需要が低迷し、成形合理化機器も伸び悩んだことから、売上げは前年同期を下回りました。

<海外売上高の状況>

主力の韓国市場は、自動車向けが好調でしたが、生産器材の海外売上げ全体としては、為替等の影響により前年同期を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金や受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ59億4千9百万円減少し1,139億1百万円となりました。

負債は、IFRS第16号「リース」の適用に伴う固定負債のその他の増加などにより、前連結会計年度末に比べ7億7千1百万円増加し145億3千3百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ67億2千1百万円減少し993億6千7百万円となりました。この結果、自己資本比率は78.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月14日に公表しました連結業績予想から、修正は行っていません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,867	44,032
受取手形及び売掛金	18,467	17,016
有価証券	1,313	1,210
商品及び製品	5,399	5,441
仕掛品	3,047	2,939
原材料及び貯蔵品	8,200	8,362
その他	1,793	1,563
貸倒引当金	△424	△429
流動資産合計	84,664	80,137
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,709	7,440
機械装置及び運搬具(純額)	3,837	3,640
工具、器具及び備品(純額)	393	374
土地	9,579	9,259
リース資産(純額)	24	2
建設仮勘定	152	148
その他	—	400
有形固定資産合計	21,698	21,267
無形固定資産		
のれん	1,116	1,068
その他	1,066	1,049
無形固定資産合計	2,183	2,118
投資その他の資産		
投資有価証券	9,508	8,515
その他	2,405	2,441
貸倒引当金	△608	△579
投資その他の資産合計	11,305	10,377
固定資産合計	35,187	33,764
資産合計	119,851	113,901

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,808	3,736
短期借入金	810	738
電子記録債務	2,020	1,956
未払費用	2,453	2,500
未払法人税等	225	209
賞与引当金	851	712
その他	1,264	2,028
流動負債合計	11,433	11,881
固定負債		
長期借入金	49	46
繰延税金負債	937	793
役員退職慰労引当金	64	64
退職給付に係る負債	1,023	1,044
その他	255	703
固定負債合計	2,329	2,652
負債合計	13,762	14,533
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,558	22,558
資本剰余金	21,560	21,560
利益剰余金	55,845	48,982
自己株式	△2,736	△14
株主資本合計	97,227	93,087
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	614	187
為替換算調整勘定	△3,077	△4,647
退職給付に係る調整累計額	1,013	896
その他の包括利益累計額合計	△1,448	△3,562
非支配株主持分	10,310	9,843
純資産合計	106,089	99,367
負債純資産合計	119,851	113,901

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	16,236	14,993
売上原価	13,169	12,281
売上総利益	3,067	2,712
販売費及び一般管理費	3,334	3,284
営業損失(△)	△267	△572
営業外収益		
受取利息	90	105
受取配当金	128	105
為替差益	376	—
その他	97	39
営業外収益合計	693	250
営業外費用		
為替差損	—	293
固定資産解体撤去費用	18	17
補助金返還損	19	—
その他	12	6
営業外費用合計	50	318
経常利益又は経常損失(△)	375	△640
特別利益		
固定資産売却益	30	33
投資有価証券売却益	—	107
特別利益合計	30	140
特別損失		
固定資産売却損	6	0
固定資産廃棄損	0	0
減損損失	2	45
特別損失合計	10	45
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	395	△544
法人税、住民税及び事業税	132	111
法人税等調整額	12	12
法人税等合計	144	124
四半期純利益又は四半期純損失(△)	250	△669
非支配株主に帰属する四半期純利益	107	91
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	142	△761

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	250	△669
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△836	△416
為替換算調整勘定	184	△1,982
退職給付に係る調整額	37	△114
その他の包括利益合計	△613	△2,513
四半期包括利益	△363	△3,182
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△355	△2,875
非支配株主に係る四半期包括利益	△7	△307

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月21日開催の取締役会決議に基づき、2019年6月28日付で、自己株式1,460,000株の消却を実施しました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が27億2千1百万円、資本剰余金が0百万円、利益剰余金が27億2千1百万円それぞれ減少しています。

(会計方針の変更)

「リース」(IFRS第16号)の適用

当第1四半期連結会計期間の期首より、在外連結子会社(米国基準を採用する米国子会社を除く)において、IFRS第16号「リース」を適用しています。この新しい基準により、リースの借手において、原則として全てのリースを連結貸借対照表に資産及び負債として計上しています。なお、この適用による当第1四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	電子デバイス 関連	生産器材	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,759	8,477	16,236	—	16,236
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	—	1	△1	—
計	7,760	8,477	16,237	△1	16,236
セグメント利益又は 損失(△)	△543	276	△267	—	△267

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しています。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子デバイス 関連	生産器材	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,181	7,811	14,993	—	14,993
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	1	4	△4	—
計	7,185	7,812	14,997	△4	14,993
セグメント損失(△)	△491	△81	△572	0	△572

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額0百万円は、セグメント間取引消去です。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。